

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2023
【本日 映画祭特設サイト&オンライン会場オープン】
5215点以上の応募から選ばれた約200作品
アカデミー賞につながるノミネート作品発表！

日本初公開！クリス・ロックさん出演作、ベン・アフレックさん&マット・デイモンさん
プロデュース作、ヴィム・ヴェンダースさん作ナレーション作品など特別上映作品が続々
玉木宏さん、土屋太鳳さん、野村萬斎さんら監督作品など
オフィシャルコンペノミネート作品にも注目

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）2023の各部門ノミネート作品および特別上映作品を本日、映画祭オフィシャルサイトにて発表いたしましたのでお知らせいたします。

<https://www.shortshorts.org/2023>

今年の映画祭は6月6日（火）のオープニングセレモニーを皮切りに、6月26日（月）のアワードセレモニーまでの期間を東京の複数会場で開催。先駆けて、本日4月27日（木）からはオンライン会場もスタート、7月10日（月）までの期間、全国から選りすぐりのショートフィルム約270作品（コンペ以外の特別上映作品を含む）をお楽しみいただけます。

- ◆世界120の国と地域から集まった5215点の中から選びぬかれた約200のノミネート作品発表
アカデミー賞につながるオフィシャルコンペティションのジャパン部門には、高良健吾さん、玉木宏さん、土屋太鳳さん、中川大志さん、野村萬斎さんなど俳優でありながら監督にも挑戦したショートフィルム作品が見事ノミネートしています。
- ◆日本プレミア！映画祭特別上映作品にクリス・ロック×ハビエル・バルデム『LOOK AT ME』
マット・デイモンとベン・アフレックがプロデュース『崩壊しつつある世界で』
ヴィム・ヴェンダースがナレーション『あの世への口笛』
中国第8世代の注目監督による『ピー・ガン ショートストーリー』、ベルリン国際映画祭受賞、アカデミー賞ノミネートのドキュメンタリー『Haulout』など映画界の世界が熱い視線を送るライジングスター監督作も登場
- ◆アフターコロナの世界をフィルムメイカーたちの視点で描くプログラム「Unlock-飛び込め 新しい世界へ-」
アバターやAI×人間の新しいコミュニケーションの形、文化の融合、デジタルアイデンティティを考える作品群を紹介。日本のZ世代の才能が開花するU-25プロジェクト、スマートフォン映画作品部門 supported by Xperia™では戦禍のウクライナが背景となった作品、気候変動によって変わりゆく姿を追う作品など、ショートフィルムならではの世界中の「今」が集結するラインナップをお届けします。
- ◆映画と映画祭の未来形
NTTとショートショートによる「未来を描くショートフィルム」のワールドプレミアや、いよいよβ版が本日ローンチとなる、Web3.0時代のクリエイターのアセットマネジメント・プラットフォーム「LIFELOG BOX」など、未来に向けてUNLOCKする映画祭のプロジェクトを体験ください。

一部の賞は映画祭に向けて事前発表および6月6日（火）のオープニングセレモニーで発表、インターナショナル、アジア、ジャパン、アニメーション、ノンフィクションの категорияからなるオフィシャルコンペティション優秀賞およびジョージ・ルーカスアワード（グランプリ）は6月26日（月）のアワードセレモニーで発表いたします。

インターナショナルプログラム特別上映作品

日本プレミア
クリス・ロック&ハビエル・バルデム
主演



『Look At Me』監督：Sally Potter

日本プレミア
ベン・アフレック&マット・デイモンが
プロデュース



『崩壊しつつある世界で』
監督：Alex Lawther

アジア インターナショナルプログラム
特別上映作品

ソン・ソック主演



『コンタクトポイント』
監督：Jay Choi

アニメーションプログラム特別上映作品

日本プレミア
ヴィム・ヴェンダースが
ナレーション



『あの世への口笛』監
督：Simon Massi

オフィシャルコンペティション ジャパン/ライブアクション部門入選の注目作品

土屋太鳳×有村架純
初共演



『Prelude〜プレリウド〜』
監督：土屋太鳳



『COUNT 100』
監督：玉木宏



『半透明な二人』
監督：浜崎慎治

世界プレミア
庭師・俳優・タレントとして
活躍中の村雨辰剛主演



『The Izakaya Dialogue』
監督：道上寿人

SSFF & ASIAは、東京都と連携し、「国内外の人々が東京を訪れたいくなる」企画：多彩な「東京」の魅力発信するプロジェクトとして、東京をテーマにしたショートフィルムを世界から公募する「Cinematic Tokyo部門」を2016年設立。

今年も様々な「東京」が表現された作品が選出され、本日、ノミネート作品がウェブサイトにて発表となりました。映画祭期間を通じて配信・上映および優秀賞（東京都知事賞）が発表されます。また、日本のクリエイター支援を目的に、今年の映画祭テーマ「UNLOCK」と連動したオンラインセミナーも開催いたします。



Cinematic Tokyo部門上映作品（ピックアップ） ※ 5月30（火）～配信開始



Cinematic Tokyo部門
ノミネート作品（左から時計回りに）

オンライン

リアル

『Story to Tell』
監督：中根 さや香

『snow escape』
監督：川島直人

『バリサン東京』
監督：小柳 義次

『君のかげら』
監督：Raymond Doan

『パリにいても』
監督：Samuel Frezoul

ONLINE クリエイターズセミナー

「ヴェネチア国際映画祭入選プロデューサーが語る、世界基準のストーリー企画・メイキングプロセス」

ゲスト：石丸健二氏（株式会社講談社VRラボ 代表取締役・エグゼクティブプロデューサー）

2022年ヴェネチア国際映画祭XR部門で、氏のプロデュースVR作品「Thank you for sharing your world」が入選。その実績を踏まえ、最新メディアにおけるオリジナルコンテンツの企画・開発プロセスについて講義頂きます。具体的には企画をゼロから立ち上げる時のアプローチや、クリエイティブチームの組成、企画を具体化していくプロセス、トライアンドエラーの重要性など、VRならではのプロセスから普遍的なノウハウまでを事例を交えて解説します。

さらに世界のVR最前線や今後世界で求められるクリエイター像などの情報も満載。



日時：6月11日（日）16：00～17:30

料金：無料

参加方法：映画祭ウェブサイトより視聴および視聴のリマインド設定が可能

ゲスト：石丸健二さん

【プロフィール】CGプロダクションのポリゴン・ピクチュアズにて13年間プロデューサーとして映画、テレビシリーズから展示映像、プロジェクションマッピング、VRまで幅広いメディアやスタイルのCGコンテンツを企画・制作。2017年より講談社VRラボの代表取締役に就任、VRや最新メディアによるストーリーテリングの演出手法や技法を探求すべく、オリジナルコンテンツの企画・制作に注力している。

アバター・AI・Web3.0...アフターコロナの世界は今：「Unlock-飛び込め 新しい世界へ-プログラム」

※ 6月6日（火）～配信開始



『瞬間移動』(Teleporting)
監督：ナム・アルム, 丹沢千文, 苗加奈那, クオン・オヨン/日本・韓国/22:33/
ドキュメンタリー/2022

21世紀を生きる4人の東アジアの女性たち。パンデミックの最中、オンラインを通して友情を育む。



『ヒステリシス』(HYSTERESIS)
監督：Robert Seidel/ドイツ/
5:05/実験的/2021
抽象画のプロジェクト・マッピングと、クアアのパフォーマーのツキが見せる力強い振付によるアートプロジェクト。



オンライン

リアル

『もう一度父と踊りたくて』
(My Father in the Cloud)
監督：Ruth Patir/イスラエル/
ドキュメンタリー/24:46

監督のRuth Patirは亡き父親とまた一緒に踊りたいと思っている。モーションキャプチャからAIといった新しい技術を取り入れ、バーチャルリアリティの時代に死をまやかそうとしているのだ。

各コンペティション、スペシャルプログラムから注目作品をご紹介します！

今年、映画祭に応募されたのは世界120の国と地域から、全5215作品。特にアメリカ、日本、フランス、中国からの応募が多く、日本からの応募は全体の16%を占めました。また、女性監督の割合は全体の3割、初監督作品が3割、学生作品が3割、年齢別では30代が4割、20代が3割と若いクリエイターからの作品がたくさん集まりました。

コロナ禍の限られた撮影環境の中で、クリエイターの情熱とアイデアが光る作品が多く見られ、特にワンロケーション、少人数キャストの作品が目立ちました。また、戦禍のウクライナを背景にした作品や、AIを活用した作品など、まさに世界の今を映し出す作品が集まり、技術や手法は時代と共に変遷しながらも、「映画」というカルチャーが変わらず人々の心・感情を解放するものであることが強く感じられました！

特別上映作品は6月6日(火)～オンライン会場で配信 6月9日～東京会場で上映 *コンペ入選作品は6月26日(月)～配信

【インターナショナルプログラム 特別上映】



クリス・ロック×ハビエル・バルデム主演
『オランダ』のサリー・ポッター監督作

オンライン
リアル

『LOOK AT ME』

監督：Sally Potter / イギリス・アメリカ / 16:00 / ドラマ / 2022

チャリティイベントの会場で、支配人となり損ないのドラマーの男が対立する。自己表現と統制という二つの欲はぶつかり合いながらエスカレートし、絶え間なく続くリズムカルな背景を背に、二人の公私が爆発的に衝突する。

ベン・アフレック&マット・デイモンがプロデュース
UKZ世代監督によるショート

オンライン
リアル

『崩壊しつつある世界で』 (For People in Trouble)

監督：Alex Lawther / イギリス・アメリカ / 16:05 / ドラマ / 2022

ジェニーとポールはパブで出会ってすぐに恋に落ちる。崩壊しつつある世界とは対照的に、二人の関係性は開花していく。ジェニーは急進的になる。ヨーロッパはさらに右傾化が進み、戒厳令がかけられる。

韓国の大人気俳優ソン・ソク主演
大人なラブストーリー

オンライン
リアル

【アジア インターナショナルプログラム 特別上映】



『コンタクトポイント』 (Contact Point)

監督：Jay Choi / 韓国 / 18:00 / ドラマ / 2015

スヌウのもとに、長年会っていなかった元恋人のジョンから電話がかかってくる。かつてのお気に入りの場所で会うことになったが、ジョンに小さい娘がおり、離婚しようとしていることに驚く。二人はモーテルでロマンチックな一夜を過ごす。しかし翌朝、スヌウは自分がただの気晴らしだったことに気づき、二人は別れる。

ウォン・カーवाई、デヴィッド・リンチの世界観を持つ
中国第8世代の新鋭監督ビ・ガン作品

リアル



『ビー・ガン ショートストーリー』 (BI GAN A SHORT STORY)

監督：ビー・ガン / 中国 / 14:57 / 寓話 / 2022

「世界で一番大切なものは何？」案山子に問われたトレンチコートの黒猫は、その答えを探す旅に出る。

庭師・俳優・タレントとして活躍中の
村雨辰剛主演

HOPPY HAPPY AWARD 受賞監督による
特別製作作品

オンライン
リアル

【ジャパンプログラム 特別上映】



『Izakaya Dialogue』 (Izakaya Dialogue)

監督：道上寿人 / 日本 / 25:00 / ドラマ / 2023

日本に留学中のスウェーデン出身のマーク。マークは、同調性の強い日本人にネガティブなイメージを抱えていた。そんな中、赤坂の風情ある居酒屋で働くユウカと出会う。

【ジャパン/ライブアクション部門入選 (ピックアップ)】

ドリアン・ロブブリッジさん+荒木飛羽さん

出演、落合賢監督や
松居大吾監督など話題の

日本人フィルムメーカー作品に期待！



『ストレンジ』 (STRANGE)

監督：落合賢 / 15:00 / 日本 / ドラマ / 2023



『ネッパ』 (Aufguss) 監督：松井大悟

24:52 / 日本 / ドラマ / 2022

【アニメーションプログラム 特別上映】 6月6日（火）～配信



ヴィム・ヴェンダースがナレーション

オンライン

リアル

『あの世への口笛』(IN QUANTO A NOI (FROM OUR SIDE))
監督：Simone Massi / イタリア / 5:00 / アニメーション / 2022
歴史は巡り、闇が我々の服を濡らす。



デジタルハリウッド主催 デジタルフロンティア
アワード2023 ベストアニメーション賞
受賞

オンライン

リアル

『ホライゾン』(Horizon)
監督：川添太雅 / 日本 / 6:00 / アニメーション / 2023
少女は宇宙飛行士を目指す。

【ノンフィクションプログラム 特別上映】 6月6日（火）～配信



2022年ベルリン国際映画祭受賞
気候変動がもたらす予期せぬ出来事

オンライン

リアル

『HAULOUT』
監督：Evgenia Arbugaeva and Maxim Arbugaev / イギリス / 25:00 /
ドキュメンタリー / 2022

シベリアの北極圏の人里離れた海岸、風の吹きつける小屋で、孤独な男が古くから続く集會を見届けようと待っている。しかし海の温暖化と気温上昇は予期せぬ変化をもたらし、男は打ちのめされる。

【スマートフォン映画作品部門 supported by Sony's Xperia (ピックアップ)】 6月6日（火）～配信



ウクライナとロシアの戦争はアートに何を与えたのか

オンライン

リアル

『ある象徴的絵画の制作』(The creation of a symbolic painting)
監督：Yevheniia Kolesnykova
ウクライナ人芸術家 マックス・サーが2022年2月24日のウクライナ侵襲後、絵画を制作する様子を追った作品。

【U-25プロジェクト (ピックアップ)】6月6日（火）～配信



監督は中学生！
Z世代日本のフィルムメーカーたちの視点

オンライン

リアル

『ある一言が本当に…』(The impact of a single word)
監督：木幡 柊介 / 日本 / 4:54 / ドラマ / 2023

片付けが嫌いな小学生のみどり。今朝も教科書と筆箱が見つからず大騒ぎをしてお母さんに叱られる。帰宅後、仕方なく片付け始めるのだが、面倒で仕方がない。ふと手にとったタブレットで指輪の広告を見つける。「何でも消します…」

【戦争と生きるカププログラム supported by 赤十字 (ピックアップ)】6月6日（火）～配信



世界各地では今この時でも、戦争やさまざまな暴力が多くの人の人生を狂わせ、愛する人や平和な日常を奪っている

オンライン

リアル

『いつの時代も…』(Warrior)
監督：Amanbek Azhyamat / キルギス / 20:30 / ドラマ・ファンタジー / 2022
戦場で兵士が銃弾に倒れ、意識を失う。目を覚ますと、そこには4人の猛者が。石器時代、中世、第一次大戦、第二次大戦を戦ってきたという。

SSFF & ASIAは「地球を救え！環境大臣賞」や「戦争と生きる力」や「ダイバーシティ」をテーマにしたプログラム、女性フィルムメーカーにフォーカスしたプロジェクトなど、SDGsにつながるメッセージを、世界のクリエイターたちによるショートフィルムを通じて発信してきました。今年の作品群からは、コロナ禍を経てスタートしている生活の中で改めて「ニュースタンダード」になりつつある新しい価値観を感じることができます。

※「地球を救え！環境大臣賞」は6月5日環境の日に受賞発表、オープニングセレモニーではShibuya Diversityアワードとともに授与が行われる予定です。

【Shibuya Diversityプログラム (ピックアップ)】6月6日(火)～配信



人種、宗教、移民、LGBTQ…
世界のDiversityを考えるドラマの数々

オンライン
リアル

『Look Like You』

監督：・Snigdha Kapoor/アメリカ/12:40/ドラマ/2022

タラは8歳の息子を養子として迎え入れた家族の元を訪れる。クィアとして疎外されながら育ってきた自身のアドバイスを、息子に伝えることに躊躇する養父母の思いをタラは払拭する。

【Women in Cinema Project (ピックアップ)】6月6日(木)～配信



世界の女性フィルムメーカーを応援

オンライン
リアル

『モーターショー』(Made of Flesh)

監督：Florence Rochat, S  rina Robin/ フランス・ベルギー/18:54/ドラマ/2022

チークを塗りリップグロスをつけ、ルーシーはモーターショーの接客係になるための研修に参加する。車を愛する彼女は、一流メーカーのEBBEに採用されたかった。しかし研修の目的はただ一つ、ルーシーと15人の女の子たちを、高品質な女性に仕立て上げることだった。

【キッズプログラム (ピックアップ)】6月6日(木)～配信



SDGsネイティブの子どもたち・親たちに贈る
世界からのメッセージ

オンライン
リアル

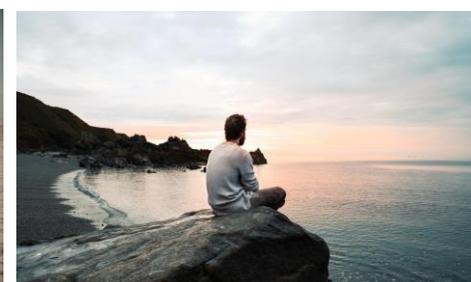
『ソーシャルカメレオン』(Social Chameleon)

監督：Alex Ross/アメリカ/9:21/アニメーション/2022

カメレオンのコスモは、他の動物たちに馴染めない。どれだけ頑張っても、ジャングルで自分の居場所を見つけれないのだ。ある日、別のカメレオンと出会って自分の本当の色で生きることを教わり、すべてが変わる。

地球を救え！環境大臣賞候補作品：6月5日(日)環境の日に賞を発表

受賞作品は6月6日(木)～配信



『僕たちの未来』(OUR FUTURES)

※国際ナショナル部門

監督：Thibault MARTIN/フランス/
24:38/ドラマ/2023

アマゾンの森林伐採をテーマとした非公開会議に二か国の国家元首が出席した。それと同じ時間、ある学校長は気候の非常事態を懸念する生徒と見知らぬ目的地に向かう。

『砂漠の星』(Desert Lights)

※国際ナショナル部門

監督：Katherina Harder/チリ/
18:56/ドラマ/2022

アタカマ砂漠の真只中で暮らす12歳のアンタイは、干ばつにより住む街が寂れて行くのを目の当たりにする。彼はサッカーのチームメイトや友だちと共に、最後まで街に残ろうとする仲間たちとの絆に最後望みを託す。

『リーダー』(Leader)

※スマートフォン映画作品部門

supported by Xperia
監督：Chris Overton/イギリス/
10:52/ドラマ/2021

人里離れた海辺で一人で暮らすドニー。海の廃棄物を使って作品を作っていたが、ある日転機が訪れ、新しい世界へと向かう。

【AOI TYOプログラム】4月27日（木）～配信開始

木彫人形のストップモーションアニメで描く時代劇に世界が熱い視線！

川村真司監督『HIDARI』とTV未放送のレアショット 合田経郎監督『どーものこそだて』を上映&配信

「つくるチカラで 世の中を明るく 作り変える。」をパーパスに掲げ、国内外で幅広いコンテンツプロデュース事業とコミュニケーションデザイン事業を展開しているAOI TYOグループが今年も映画祭のクリエイティブパートナーに。

アニメーションスタジオ「ドワーフ」による作品と、「TYO学生ムービーアワード」の第3回金賞・銀賞作品を特別招待作品として上映・配信するほか、特設ページで同グループが取り組む若手クリエイター向け情報をご紹介します。

<https://shortshorts.org/2023/special/aoi-tyo/>



©dwarf/Whatever/TECARAT

『HIDARI』（アニメーションプログラム）
監督：川村真司/小川育/日本/5:32
／アニメーション／2023

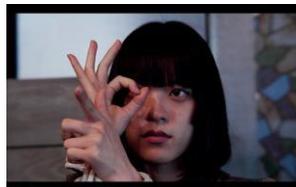


Domo©NHK・TYO Domo Animation
©DomoProductionCommittee

『どーものこそだて』（キッズプログラム）
監督：合田経郎/日本/5:04/
アニメーション/2005



『Tribe X』
TYO学生ムービー
アワード金賞
監督：上川林太郎



『手のひら』
TYO学生ムービー
アワード銀賞
監督：柏井翔矢

【（国境なき医師団（MSF））×SSFF&ASIA オンライントークイベント】5月21日（日）14:00～15:00



気候変動と人道危機の現実
——世界のいまを伝える映像の可能性

日時：2023年5月21日(日)14:00～15:00

オンライン・無料

ゲスト：with Planet編集長 竹下由佳さん、写真家 渋谷敦志さん
産婦人科医 森田恵子さん（MFS）

リマインド設定のお申し込み：

<https://shortshorts2023onlineeventmsf.peatix.com>

渋谷さんが撮り下ろした写真をはじめ、ライブ中継や動画を通じて、気候変動が人道危機に及ぼしている影響についてリアルな現状を知り、一緒に考えていきます。

アクティビティコート併設するサイクルカフェ「TORQUE SPICE & HERB, TABLE & COURT」で屋外上映&カフェ上映！

「サイクリストフレンドリー」をコンセプトに、自転車通勤をするワーカーをサポートし、趣味や興味を通じて交流できる新たなスペース「TORQUE SPICE & HERB, TABLE & COURT」に併設のアクティビティコートで、ショートフィルムの屋外上映会を開催。

日時：屋外（+カフェ内）上映会：

6月9日（金）～11日（日）19:30 - 21:40

※荒天時はカフェ内でのみの上映

場所：TORQUE SPICE & HERB, TABLE & COURT

料金：無料

TORQUE会場にチケット予約はございません。

整理券を上映日当日の19:10から配布いたします



映画祭オフィシャルSNSナビゲーターが決定！映画の目利きならでのおススメを紹介

映画レビューをはじめ、個性&魅力あふれる情報を紹介し活躍中のSNSインフルエンサーが映画祭のオフィシャルSNSナビゲーターに就任！数ある作品ラインナップの中から、おススメのショートフィルムを紹介していきます。



左より：ダイスケおじさん（IG）／DIZ（Twitter）／テラシマユカ（Twitter）／MIYAZAKI TAKERU（IG）／Filmmarks

β版が本日スタート 世界のクリエイターの世界をアセットマネジメントするWEB3.0時代のプラットフォーム「LIFE LOG BOX」



クリエイターのデータマネジメントサービス

「LIFE LOG BOX」が6月8日にフルバージョンでオープンするのに先駆け、クリエイターが自身のポートフォリオや 作品をプラットフォーム上に登録、紹介できるβ版がオープン。ユーザーがNFTで世界のクリエイターたちの作品の権利を売買する機能も追加予定です。※5月後半予定。

URL: <https://lifelogbox.com/ja/>

【部門・アワードの構成】

【公募部門】

●アカデミー賞公認5部門

オフィシャルコンペティションはライブアクション部門（インターナショナル、アジア インターナショナル、ジャパン）およびノンフィクション部門、アニメーション部門からなり、各部門優秀賞が翌年のアカデミー賞短編実写部門への推薦されます。

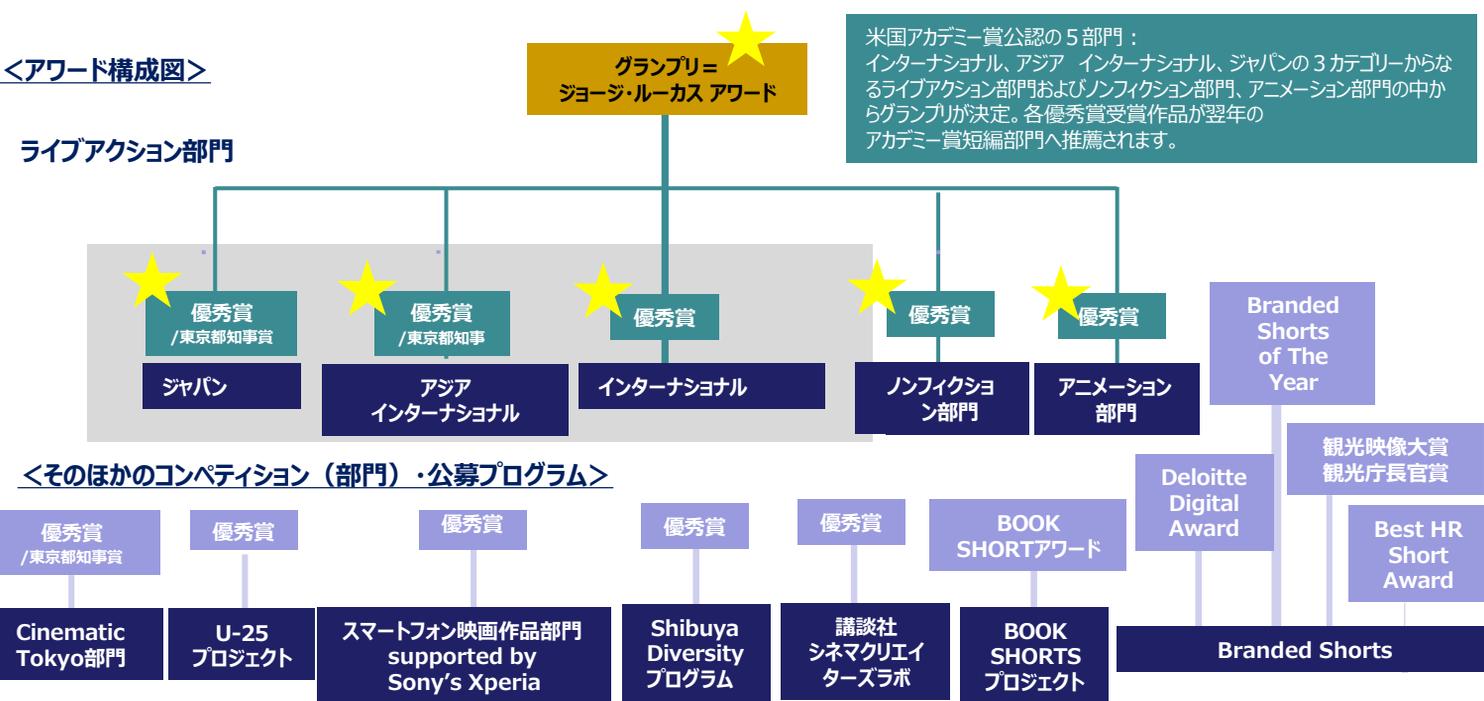
● **Cinematic Tokyo 部門** 2016年設立。様々な「東京」の魅力を発信するショートフィルムを上映。

● **Branded Shorts部門** 国内外の企業・団体のブランディングムービーを特集。

● **U-25プロジェクト** 2019年に設立。将来有望な映像作家の国内外での活躍を応援すべく、国内の25歳までの監督が制作した作品を対象に、5分以下のショートフィルムを公募。

ライブアクション部門（インターナショナル、アジア インターナショナル、ジャパン）、アニメーション部門、ノンフィクション部門の各優秀賞およびジョージ・ルーカスアワード（グランプリ）作品は6月26日（月）に行われるアワードセレモニーで発表となります。また、本映画祭の開催に先駆けて、6月6日（火）には、オープニングセレモニーを開催予定です。セレモニーの概要につきましては別途、取材案内状をお送りさせていただきます。

<アワード構成図>



※コンペティション（部門）以外に、各テーマを表現した最も優秀な作品に下記アワードが贈られます。

● **地球を救え！環境大臣賞**……地球環境に関するテーマ

● **J-WAVE SOUND OF CINEMAアワード**……音楽・歌・声・音・楽器など「サウンド」がユニークで効果的な役割を果たしているショートフィルム作品に対して授与

● **HOPPY HAPPY AWARD**……「Be HAPPY with HOPPY」を掲げるホッピーの思いを体現するショートフィルムに贈られる賞

● **MILBON BEAUTY AWARD**……上映作品の中から「美しさ」をもっとも表現したショートフィルムに贈られる賞

● **オーディエンスアワード**……コンペティション作品の中から、各部門ごとに来場者および視聴者の投票で選ばれる観客賞

● **ベストアクターアワード**……オフィシャルコンペティション作品の中から、優秀な俳優に贈られる賞

● **グローバルスポットライトアワード**……6月4日以後配信されるコンペティションノミネート作品を対象に、映画祭オンライン会場で最も視聴された作品に対して贈られる賞

● **Most Viewed Award**……映画祭オンライン会場で最も視聴された作品に対して贈られる賞

【ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2023 概要】

- 映画祭代表：別所 哲也
- 開催期間：6月6（火）～6月26日（月）
オンライン会場は4月27日（木）～7月10日（月）
- 上映会場：TORQUE SPICE & HERB, TABLE & COURT（渋谷）、
二子玉川ライズ スタジオ & ホール、ユーロライブ、
表参道ヒルズ スペースオー、赤坂インターシティコンファレンス
オンライン会場にて予定
※開催期間は各会場によって異なります
- 料金：会场上映：無料（予約開始は4月27日～）一部有料イベントあり
- 一般からのお問い合わせ先：03-5474-8844
- オフィシャルサイト：<https://www.shortshorts.org/2023>
2023ウェブサイトは4月27日にアップデート公開
- 主催：ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会
※新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、時期または内容を変更する場合があります。

<映画祭ポスタービジュアル>

【ショートショートフィルムフェスティバル & アジア】

SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL & ASIA

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの思いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、同年に

「ショートショートフィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生し、現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

また、2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019年の映画祭より、オフィシャルコンペティション（インターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門）およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】<https://www.shortshorts.org>

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

担当：担当：永倉（080-4249-3358）、阿部、武田

TEL：03-6894-3200 / FAX：03-5413-3050 / E-mail：SSFF@ssu.co.jp

ショートショート実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 / E-mail press@shortshorts.org

【本資料に関する画像については、下記よりダウンロードいただけます】

https://drive.google.com/drive/folders/1ji0bq_xQX2Yv3Bf-O5VIkdAt8bmc-z3p?usp=sharing